



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 丸大食品株式会社

コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百済 徳男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	178,799	3.3	4,383	18.8	4,654	17.0	2,718	31.4
27年3月期第3四半期	173,050	4.6	3,688	0.7	3,976	2.7	2,069	△3.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,537百万円 (8.0%) 27年3月期第3四半期 3,274百万円 (△8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	20.59	—
27年3月期第3四半期	15.93	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	136,051	73,803	53.9	558.26
27年3月期	123,908	71,708	57.5	538.20

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 73,364百万円 27年3月期 71,305百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	7.00	7.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	229,000	3.0	3,100	13.5	3,500	11.8	2,000	10.8	15.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)に取得しました自己株式を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	132,527,909 株	27年3月期	132,527,909 株
28年3月期3Q	1,110,317 株	27年3月期	37,283 株
28年3月期3Q	131,998,949 株	27年3月期3Q	129,881,915 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、政府による各種政策等の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費につきましては、生活必需品の値上げ等が重荷となり消費者マインドの持ち直しに足踏みが見られました。また、世界経済の下振れリスク等、景気の下押しも懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

加工食品事業につきましては、お客様の節約志向や競合他社との価格競争激化、世界保健機関（WHO）の研究機関であるIARCの加工肉等に関する発表及び報道による影響などから、非常に厳しい環境が続いております。また、食肉事業につきましては、豚肉は、出荷頭数が回復し安定した相場を取り戻しつつありますが、牛肉は、出荷頭数の減少などから相場が高値で推移するなど、食肉全体では、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、「基盤事業の強化」「多角化戦略の推進」「ローコスト経営の促進」などの基本方針を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.3%増の1,787億99百万円、営業利益は同18.8%増の43億83百万円、経常利益は同17.0%増の46億54百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同31.4%増の27億18百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	122,889	126,786	3,896 (3.2%)	2,883	3,866	983 (34.1%)
食肉事業	49,898	51,717	1,819 (3.6%)	667	391	△275 (△41.3%)
その他	263	295	32 (12.4%)	137	124	△12 (△9.3%)
合計	173,050	178,799	5,748 (3.3%)	3,688	4,383	694 (18.8%)

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	72,762	70,728	△2,034 (△2.8%)
調理加工食品	50,126	56,057	5,931 (11.8%)

## ① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、発売20周年を迎えました「燻製屋熟成あらびきウインナー」などの主力商品を中心に、「目指せ達人！燻製屋道場キャンペーン」の販売促進などを実施し、売上拡大に向けて積極的な拡販を図りました。また、ご好評をいただいております「燻(いぶし) 特級ベーコン」や「炙(あぶり) ばら焼豚」などが引き続き堅調に推移しました。歳暮ギフトにつきましては、モンドセレクション食品部門において最高金賞を受賞しました商品を中心に詰め合わせた「王覇」「煌彩」シリーズなどの売上拡大に努めましたが、競合他社との販売競争激化や加工肉等に関するIARCの発表及び報道の影響などにより、当部門の売上高は前年同期比2.8%の減収となりました。

調理加工食品部門では、51種類のスパイスを使用した香り豊かな「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズや、こだわりの塩を使用した「淡路島の藻塩使用 から揚げ」などの主力商品の販売に注力し売上拡大に努めました。また、韓国家庭料理チゲの素「スンドゥブ」シリーズは、昨年比暖冬であった影響を受けましたが、「Soup BIZ(スープビズ)」シリーズの投入などにより、スープ類全体の底上げを図りました。デザート・飲料類につきましては、「SWEET CAFE」シリーズやブラックタピオカ入り飲料の「TAPIOCA TIME」シリーズなどの人気商品が引き続き好調に推移しました結果、当部門の売上高は前年同期比11.8%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比3.2%増の1,267億86百万円となりました。営業利益は、合理化によるコスト削減に努めたことなどにより、前年同期比34.1%増の38億66百万円となりました。

## ② 食肉事業

豚肉につきましては、出荷頭数が回復し、安定した相場を取り戻しつつあるなか、輸入豚肉の拡販を図り売上拡大に努めました。牛肉につきましては、引き続き相場が高値で推移するなか、売上高は、国産牛肉などの拡販に取り組み堅調に推移しましたが、収益面では、輸入冷凍牛肉の一部商品の相場が大幅に下落したことから大変厳しい状況となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比3.6%増の517億17百万円となりました。営業利益は、前年同期比41.3%減の3億91百万円となりました。

## ③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比12.4%増の2億95百万円、営業利益は前年同期比9.3%減の1億24百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	123,908	136,051	12,143
負債	52,200	62,247	10,047
純資産	71,708	73,803	2,095
自己資本比率	57.5%	53.9%	△3.6%

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産が13億40百万円減少しましたが、年末商戦などの売上高増加により受取手形及び売掛金が134億60百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ121億43百万円増加し、1,360億51百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が65億19百万円増加したほか、未払金が34億88百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ100億47百万円増加し、622億47百万円となりました。

純資産は、剰余金9億27百万円の配当がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益27億18百万円を計上したことなどから、前連結会計年度末に比べ20億95百万円増加し、738億3百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から3.6%低下し、53.9%となりました。

## 〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,037	4,211	5,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,634	△2,053	1,581
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,351	△2,607	△4,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,577	13,474	896

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上などから、42億11百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、20億53百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済や配当金の支払いなどから、26億7百万円減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末から4億48百万円減少し、134億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、  
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）  
及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい  
う。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による  
差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更  
いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法  
に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行  
っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半  
期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社  
株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、  
連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関  
連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び  
事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点か  
ら将来にわたって適用しております。

なお、これによる損益及び財政状態への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,922	13,474
受取手形及び売掛金	23,951	37,412
商品及び製品	10,533	9,167
仕掛品	567	258
原材料及び貯蔵品	5,932	6,267
繰延税金資産	1,025	831
その他	760	1,577
貸倒引当金	△56	△82
流動資産合計	56,637	68,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,080	47,694
減価償却累計額	△33,477	△33,811
建物及び構築物(純額)	14,603	13,883
機械装置及び運搬具	51,413	52,219
減価償却累計額	△40,271	△41,951
機械装置及び運搬具(純額)	11,142	10,267
工具、器具及び備品	4,445	4,468
減価償却累計額	△2,919	△2,894
工具、器具及び備品(純額)	1,525	1,573
土地	18,245	17,926
リース資産	6,097	6,228
減価償却累計額	△3,363	△3,384
リース資産(純額)	2,733	2,844
建設仮勘定	63	1,338
有形固定資産合計	48,312	47,834
無形固定資産	1,034	836
投資その他の資産		
投資有価証券	12,683	13,277
長期貸付金	152	108
繰延税金資産	108	92
その他	5,287	5,263
貸倒引当金	△308	△267
投資その他の資産合計	17,923	18,473
固定資産合計	67,270	67,144
資産合計	123,908	136,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,071	27,591
短期借入金	7,301	8,142
1年内返済予定の長期借入金	2,095	1,783
リース債務	745	761
未払金	5,348	8,836
未払法人税等	767	1,003
未払消費税等	1,038	1,186
賞与引当金	995	326
その他	1,625	2,276
流動負債合計	40,990	51,909
固定負債		
長期借入金	5,223	4,134
リース債務	2,088	2,166
繰延税金負債	1,609	1,996
退職給付に係る負債	1,727	1,474
その他	559	566
固定負債合計	11,209	10,338
負債合計	52,200	62,247
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,073	22,061
利益剰余金	39,615	41,406
自己株式	△10	△511
株主資本合計	68,394	69,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,775	5,277
繰延ヘッジ損益	8	△5
為替換算調整勘定	△153	△133
退職給付に係る調整累計額	△1,719	△1,446
その他の包括利益累計額合計	2,911	3,692
非支配株主持分	402	438
純資産合計	71,708	73,803
負債純資産合計	123,908	136,051

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	173,050	178,799
売上原価	132,651	137,076
売上総利益	40,398	41,723
販売費及び一般管理費	36,710	37,340
営業利益	3,688	4,383
営業外収益		
受取利息	17	15
受取配当金	142	154
不動産賃貸料	153	165
その他	338	290
営業外収益合計	651	625
営業外費用		
支払利息	183	160
その他	180	193
営業外費用合計	363	354
経常利益	3,976	4,654
特別利益		
固定資産処分益	20	102
投資有価証券売却益	36	97
特別利益合計	57	199
特別損失		
固定資産処分損	126	66
減損損失	132	260
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	263	326
税金等調整前四半期純利益	3,770	4,526
法人税、住民税及び事業税	1,202	1,580
法人税等調整額	269	189
法人税等合計	1,471	1,770
四半期純利益	2,298	2,756
非支配株主に帰属する四半期純利益	229	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,069	2,718

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,298	2,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	647	501
繰延ヘッジ損益	11	△13
為替換算調整勘定	△64	12
退職給付に係る調整額	378	273
持分法適用会社に対する持分相当額	2	7
その他の包括利益合計	975	780
四半期包括利益	3,274	3,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,044	3,499
非支配株主に係る四半期包括利益	229	37

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,770	4,526
減価償却費	3,997	3,845
減損損失	132	260
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	131
受取利息及び受取配当金	△160	△169
支払利息	183	160
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36	△97
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	—
固定資産処分損益 (△は益)	106	△35
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,460	△13,455
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,230	1,341
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,043	6,519
未払金の増減額 (△は減少)	2,446	3,019
未払消費税等の増減額 (△は減少)	450	148
その他	36	△886
小計	257	5,294
利息及び配当金の受取額	282	303
利息の支払額	△171	△151
法人税等の支払額	△1,405	△1,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,037	4,211
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△23	△24
投資有価証券の売却による収入	49	336
固定資産の取得による支出	△3,635	△2,583
固定資産の売却による収入	82	305
その他	△107	△87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,634	△2,053
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,140	838
長期借入金の返済による支出	△1,271	△1,400
リース債務の返済による支出	△580	△600
配当金の支払額	△909	△928
自己株式の取得による支出	△1	△501
その他	△24	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,351	△2,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,319	△448
現金及び現金同等物の期首残高	14,897	13,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,577	13,474

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	122,889	49,898	172,787	263	173,050	—	173,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	813	813	△813	—
計	122,889	49,898	172,787	1,076	173,863	△813	173,050
セグメント利益	2,883	667	3,551	137	3,688	—	3,688

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては132百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	126,786	51,717	178,503	295	178,799	—	178,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	815	815	△815	—
計	126,786	51,717	178,503	1,111	179,615	△815	178,799
セグメント利益	3,866	391	4,258	124	4,383	—	4,383

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示（会計方針の変更）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上する方法に変更いたしました。

これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては260百万円であります。